

安保破棄ニュース

No. 570
2024. 10. 11

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 〇六一六七六一三三三三
FAX 〇六一六七六一三三三六
Eメール ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.ampo-osk.jp>

「戦争する国」づくりのための 改憲を許すな！！

自民党は、「自主憲法の制定」≠憲法改正を「党の使命」と掲げ、来年で結党70年を迎えます。

10月1日に新しく内閣総理大臣に選出された石破氏は、これまで「9条2項の削除」と「国防軍」の保持を主張していましたが、岸田首相が自民党総裁選への不出馬発表の際に党改憲実現本部に指示し論点整理された「9条への自衛隊明記」「緊急政令」という方向に考えを変更。10月4日に行った所信表明演説において、首相在任中に「改憲発議」を行うことを表明しました。

これらは、2022年12月の「安保3文書」閣議決定以降、自公政権が強行している「戦争する国」づくりへの準備の実態が、「戦争しない国」の礎である日本国憲法との間に、あまりにも深い「矛盾」を生み、極限に達しているため、追い詰められた彼らにとっては、「先送りのできない課題」となっていることを示しています。

そして、その野望を実現するため、ボロが出ない間に、彼らにとって「都合な真実」が国民に伝わらないように、わずか9日間の会期で、大切な予算委員会を開くこともせずに臨時国会を閉会し、この「憲法改正」を公約に掲げて、10月15日公示、27日投票開票で総選挙が行われます。

総選挙を巡っては、裏金問題に係わった議員の「公認」について、石破氏は、1日の首相就任後の記者会見では、いかにも公認を前提とする様な発言をしていましたが、各報道機関が行った世論調査で、裏金議員の公認は「不適切」とする国民の声に耐え切れず、6日には一転して『選挙における非公認』よりも重い処分を受けたものは非公認」とするなど、石破政権の清潔感をアピールして、自民党は変わろうとしていると、国民に思わせようとしているとしか見えません。

それどころか、石破氏自身の政治資金収支報告書に不記載があっ

たことを認めることになり、「勇氣と真心を持って真実を語り、国民の納得と共感を得られる政治を実現する」など程遠い実態です。

もし、この総選挙で政権与党や維新の会・国民新党などが議席を維持するようなことになれば、それこそ彼らは一気呵成に改憲策動を推し進め、石破氏が所信表明では、「日米同盟は日本外交・安全保障の基軸であり、インド太平洋地域と国際社会の平和と繁栄の基盤です」とまで言いながら、一言も触れなかった「アジア版NATO」創設・米軍の核兵器「共有」や持ち込みについての「非核三原則」見直し、「国家安全保障基本法」制定、加えて、改定と言いつつ、実は究極の対米従属につながるグアムへの自衛隊駐留や、在日米軍の更なる負担軽減のための米軍基地の自衛隊との共同使用を含む「日米地位協定」改定など、極めて危険な彼の主張を実現するための「戦争する国」づくりを、憲法を「改正」することによって「合憲化」してくる危険性があります。

しかし、私たちは、戦後79年、日米安保条約が締結されて73年、憲法改正を「党の使命」と掲げて自民党が結党してから70年、二度と侵略戦争は起こさないと世界に誓い、戦力の保持を禁じ、国の交戦権を否定した第9条を定めた日本国憲法の大いなる力と、平和を愛し、それを不断の努力によって守り続けてきた国民の不屈の闘い、さらには、安倍政権が集団的自衛権の行使容認を閣議決定してからの10年間も、市民と野党の共闘の力によって、安倍・菅・岸田の3政権が公約として掲げた「改憲」の野望を打ち砕いてきました。

この確かな実績に確信を持ち、世界の人々から日本への信頼を得る礎となり、崩すことのできない平和のための最後の砦、日本国憲法第9条を守り続けましょう。

「安政法制の廃止」と「立憲主義の回復」という「市民と野党の共闘」の原点に立ち返り、「決して諦めることなく、これ以上「戦争する国」づくりの政治を続けさせないために、シッカリと腹八分腹六分の本気の「共闘」を進展させ、政治を変え、日本国憲法・第9条がくらしの中に生きる社会を築くために、がんばりましょう。



諸団体の取り組み、当面の予定など

10月

- 16日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～ 大阪安保事務所2階
27日(日) 衆議院選挙 投票

11月

- 1日(金)～3日(日) 沖縄連帯行動《安保中央・全国革新懇主催》
3日(日) 「輝け憲法！平和といのちと人権を おおさか総がかり集会」
13:30～ 大阪市中央公会堂・1階大集会室
13日(水) 近畿安保合同会議 15:00～ 大阪安保事務所2階
16日(土) 日本平和大会 オンライン
20日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～ 大阪安保事務所2階
21日(木) 近畿安保自衛隊施設視察行動「祝園弾薬庫現地視察」
22日(金) 大阪安保23宣伝行動 12:00～ 淀屋橋

自民党政治を 終わらせよう！



10月1日に臨時国会が開会されました。今回の臨時国会は、その開会前に、まだ首相に選出されてもいない自民党新総裁である石破氏が、早期解散を発信するという異常な状態で始まりました。国民大運動大阪実行委員会、大阪憲法会議・共同センター、安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会三者の呼びかけで、国会開会日宣伝を、同日昼12時15分から淀屋橋で行いました。22人の参加でした。

大阪憲法会議・共同センター、大阪民医連、新日本婦人の会、安保破棄大阪実行委員会、大阪労連からそれぞれ弁士を出し、道行く人たちに訴えかけました。今回の国会がどのような状況の下で開かれるものなのか。能登半

23 宣伝行動

9月の安保破棄大阪実行委員会23定例宣伝行動を9月20日の夕方5時15分から、大阪市庁舎近くの淀屋橋で行いました。今回で通算429回目の23行動となります。

いつもは、昼の12時から行っていましたが、暑さがきつい時間帯でもあるため、今回は試みに夕方に行いました。

ビラ配布、プラスターを持ってのスタンディング「代執行による辺野古新基地建設工事中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願」署名と「平和、いのち、くらしを壊し、市民に負担を強いる軍拡、増税に反対する請願」署名協力呼びかけ、弁士による訴えを行いました。11人の参加でした。弁士は、大阪憲法会議、大阪AALA、母親大会連絡会からいただきました。

紛争が絶えない世界で日本がはたすべきは憲法9条をいかした外交であること、それに反して軍拡をすすめるようとする政府への批判の声を上げました。

10月は、総選挙期間中ということもあり、23宣伝行動は中止とします。次回の23宣伝行動は、11月22日に行います。時間は元に戻し、昼の12時から、場所はいつもと同じく淀屋橋で行う予定です。



島の震災復興、物価高騰対策など、国民が改善を求める事柄が多くあるのにそれらをまともに審議する姿勢もなく、早期解散を示していることへの抗議の声を上げました。医療分野からは、医療・介護の実態と制度改善を望む思いを、介護崩壊が起こっている状況も踏まえて訴えかけました。自民党総裁選のマスコミ報道の異常さ、能登半島震災ボランティアへ行った人の声、米不足の問題などに関しても訴えました。また、「戦争する国づくり」を突き進むことを明言している石破氏の言動を示し、「フルスペックの日米軍事同盟」を実現しようとしていることへの危険性をしめしました。宣伝全体を通して、解散総選挙で自民党政治を終わらせようと力強く訴えかけました。